

オープン・コム

Open Com

2020 No.43



開放型病床をもつ開かれた病院として、地域の先生方や住民の皆様とコミュニケーションを図り、心かよう安心の医療を目指します。

(紫陽花)

新病院長就任のご挨拶	2
病院長退任のご挨拶	3
副院長就任のご挨拶／統括診療部長就任のご挨拶	4
医療コラム	5
子どもの低身長	
当院の実力 小児科編	6～7
医療コラム	8
周術期口腔機能管理って何ですか？	
当院の骨粗しょう症診療について	8
トピックス	9
地域医療連絡会のご報告	
皮膚排泄ケア認定看護師による訪問看護師との同行訪問のご案内	

がん情報コーナーのご案内／がん相談支援センター紹介	10
くらしと医療の相談窓口／【お薬コーナー】について	11
受診時のお願い／理念、基本方針、患者さんの権利と責務	12
みなさまの声 Open Win/d より／禁煙外来のご案内	13
当院の活動内容を掲載している記事	14
院内施設のご案内	15
かかりつけ医さん こんにちは	16～17
康心会消化器内視鏡クリニック 大阪福島院	
もりかわ内科クリニック	
おくだ歯科クリニック	
HABAクリニック	
各種教室・公開講座・院内の公開講座	18～19

新病院長就任のご挨拶

地域医療機能推進機構 (JCHO) 大阪病院 病院長 西田 俊朗

平素より JCHO 大阪病院に対し多大なご支援・ご理解を賜り、心より御礼申しあげます。

COVID-19 感染症のパンデミックのもと緊急事態宣言が大阪・兵庫でも発出された中、このオープン・コムが皆様方のお手元に届くころには、COVID-19 感染症のパンデミックが終息、或いは好転していることを祈念しつつ本原稿を書いております。

本年、令和 2 (2020) 年 4 月より前任の山崎芳郎病院長を継いで、JCHO 大阪病院の病院長に就任しました。7 年間程、国立がん研究センター東病院、その後、中央病院の病院長をしていたため、少し大阪を留守にしておりました。これから宜しくお願い申しあげます。

1952 年 8 月に大阪福島の地に開院した大阪厚生年金病院の歴史と伝統を引継ぎ、2014 年に厚生団・全社連・船保協会加盟する全国 57 病院と共に独立行政法人地域医療機能推進機構 (Japan Community Healthcare Organization: JCHO) に加わった JCHO 大阪病院は、地域の先生方、住民の皆様方と協力し地域医療を支え、公衆衛生の向上や住民福祉の増進等に貢献するより公的な病院となりました。時をほぼ同じくして、2015 年 5 月に JCHO 大阪病院は、装いも新たに念願の新病院を開院しております。大阪厚生年金病院が開設以来培ってきた地域との絆、患者さん・ご家族との絆、地域の各種団体や組織との絆を大切に、患者安全や危機管理の能力を高め、安全で質の高い医療を地域に届けて参りたいと思います。JCHO の理念である「地域の住民、行政、関係機関と連携し、地域医療の改革を進め、安心して暮らせる地域づくりに貢献します」に基づき、大阪病院は、地域医療支援病院として、救急指定病院・大阪府がん診療拠点病院・災害拠点支援病院として、5 疾病 (がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患)、4 事業 (救急医療、災害医療、周産期医療、小児医療) に、これまで以上に力をいれて参ります。教育や人材育成に関しても、地域の医師会と協力し最新の医療情報を提供するとともに、トップクラスの臨床研修病院として、また優秀な看護師を送り出す看護専門学校を運営する病院として、引き続き秀逸な医療者の育成にも携わって参ります。

私自身は 1981 年 (昭和 56 年) の大阪大学医学部卒です。大学院を終えた後、消化器外科、特に、上部消化管の胃外科・内視鏡外科 (技術認定医) を専門としており、加えて、消化管の肉腫である GIST (消化管間質腫瘍) や粘膜下腫瘍の診断、治療、そして研究開発に携わって参りました。前任の国立がん研究センター東病院と中央病院の経験とネットワークを活かし、JCHO 大阪病院がこれまで以上に地域のがん医療に貢献する病院になり、最新で最良のがん医療を届けられるようにして参ります。

今医療の世界では、地域医療構想、医師・医療従事者の働き方改革、そして医師偏在対策の「三位一体」改革が進みつつあります。日本の人口構成や経済、科学やテクノロジーと言った医療の外部環境が急激に大きく変わる中、病院にも医療にも、これまでとは全く違う展開やイノベーションが求められています。この大きなうねりを乗り切り、地域医療に貢献し、益々発展する病院になるよう皆様と協力して職員一同全力で取り組んで参りたいと思います。

今後とも皆様方のあたたかいご支援とご助言を心よりお願い申しあげます。

病院長退任のご挨拶

前 JCHO 大阪病院長 山崎 芳郎

私は、この3月末で37年8ヶ月勤めた当院を定年退職致しましたので、前病院長として一言ご挨拶申し上げます。

思い起こせば、1982年8月に大阪厚生年金病院外科の人員不足を是正するために、短期間の出向を命ぜられ1医員として赴任したのが始まりでした。その後、外科医として何をすべきか進路について思い悩むことも多々ありましたが、1990年に遭遇した鏡視下手術および技術認定医資格の取得で臨床医としての迷いが払拭され、以後「率先垂範」「生涯現役」を座右の銘として在任中に約5,000名の患者さんに手術を通じて携って参りました。

また、副院長就任の際に小野元院長から与えられた二つの命題1)MRSA や O-157といった感染症対策を講ずべく ICT の基盤作りと 2) 人材確保と育成を念頭にした新臨床研修医制度への対応に、自ら知識獲得に励むとともに、大学同僚や当院メディカルスタッフから多大な協力を得て、当初の目標は概ね達成出来たと思考します。しかし、退職間際に直面した COVID-19 感染拡散および新専門医制度から派生した医師の診療間較差と2024「働き方改革」との整合性などの難題が未解決となっていますが、優秀な後輩スタッフが無事乗り切ってくれるものと信じています。

その後の病院長在任10年間は、私にとっても当院にとっても激動の時代であったと思われまふ。即ち、1) 売却危機にあった大阪厚生年金病院から JCHO 大阪病院への組織移行と2) 職員永年の夢で「心の財産」として共有出来た新病院建設移転です。

より公的な独立行政法人 (JCHO) として、新たな道程を歩み始めて満6年が経過しました。「民から官」への移行が生みだしたみなし公務員としての束縛感、収支優先の組織本部と現場職員との連携不足、新築工事と高額医療機器整備にかかる減価償却費返済等で、職員のわだかまりが未だ完全払拭に至っていないことも承知しています。そこで、地区担当理事ならびに全国院長部会長として本部役員との会合を通じて意見具申の機会を多く持ちました。しかし、私の力量不足で職員からの要望に十分応えるまでには至らず申し訳なく思っています。

当院は大阪市西部基本保健医療圏 (人口約48万人) における地域医療支援病院として、救急を含む5疾病4事業に関する医療の質を維持しつつ JCHO57病院中4位の経常収益を継続しています。令和3年度以降は高額医療機器に関する減価償却費返済が概ね終了しますので、収支も必ず好転していく予定です。

この様に重要な課題が山積する時期に退職するのは後ろ髪を曳かれる思いですが、後任の西田俊朗先生は国立がん研究センター中央 & 東病院長を7年間勤め、専門のがん診療はもとより地域連携を含む病院運営にも精通した消化器外科医ですので、安心して任せられる人物と考えています。

退職直前まで遠方の勤務であったため申し送りが不十分となりましたので、私自身退職後も暫くは、外科診療・健診業務とともに週2.5日 (火～木曜) 医療顧問として補佐役を勤めて参ります。

最後に、改めて昭和・平成・令和の時代を通じて多くの人から頂いた数々のご指導・ご厚意に対して深謝を申し述べるとともに、世代交代した幹部と職員間の絆が大きく進展 (One Team) することを切に願ひ、広報誌を御覧頂いた皆様におかれましては引き続きご支援を頂ければ幸甚と考えています。

(令和2年4月)



副院長就任のご挨拶

副院長 大脇 肇

2020年1月付けで副院長を拝命しました。当院の前身である大阪厚生年金病院に赴任したのが2000年4月ですからほぼ20年になります。この間に大阪厚生年金病院からJCHO大阪病院へと病院の存続に関わる大きな変化がありました。病院の移転に伴う経営悪化と最近の病床稼働率低下も経験しました。また、この原稿を書いている段階では新型コロナウイルス感染症の流行が先の見えない状態で、日本全体が不安に覆われています。

整形外科主任部長および統括診療部長で培った経験を今後は副院長という立場から当院がより地域医療に貢献できる存在になれるように微力ながら貢献したいと考えています。

(2020年3月)

統括診療部長就任のご挨拶

統括診療部長 島田 幸造

このたび統括診療部長を拝命し、同時に整形外科主任部長の職責を担わせていただくことになりました。重責を持ち前の明るさで乗り切る所存です。

小生は当院の前身である大阪厚生年金病院に1991年整形外科スタッフとして着任し6年強、そして2007年に帰任し13年、都合20年近くを当院で手・肘・末梢神経と上肢のスポーツ障害を専門に過ごしてきました。がむしゃらに手術をしてきた時期から後輩を指導する時期を経て、今度は病院全体を俯瞰し運営にも携わることになり身の引き締まる思いです。

引き続き整形外科医として高度な専門医療を提供すると共に、地域医療に貢献するというJCHO設立理念を実践し皆様の健康な暮らしを護るべく努めて参りますので、よろしくご支援のほどお願いいたします。

最後に肩の力を少し抜いて、

“Love the life you live. Live the life you love.” -Bob Marley

(2020年3月)

「背が周りと比べて小さい」「背があまり伸びていない気がする」など気になることはありませんか？

子どもの低身長とは？

「クラスで一番小さい」と言っても、生まれ月などにより、実際に低身長である場合とそうでない場合があります。年齢に対する標準身長からどのくらい離れているのかを示すSDスコアが有用です。

$$\text{SDスコア} = \frac{\text{身長の実測値} - \text{標準身長}}{\text{標準偏差}}$$

-2SD ~ +2SD に95.4%のお子さんが含まれており、-2SD より身長が低いお子さん（全体の2.3%）が低身長ということになります。身長が低い場合、ご両親の身長も低いなど、遺伝や体質の影響もありますが、成長に関わるホルモン（成長ホルモン、甲状腺ホルモン、性ホルモン）の異常や、その他の原因がわかる場合があります。また、成長が急に鈍くなる、逆に早くなるなど、身長が正常範囲内であっても、成長パターンの異常から、病気がみつかる場合もあります。



診察、検査は？

まずは問診と成長曲線の確認、身体診察、必要に応じて血液・尿検査、手のレントゲン撮影を行なっています。成長曲線の作成には成長記録が必要となります。その他全身のレントゲン撮影や頭部MRI検査などを行うことがあります。成長ホルモンは一日の中で変動が大きく、夜間に多く分泌されるため、成長ホルモン分泌を評価するためには、検査入院していただき、負荷試験を行なっています。標準的には2泊3日となりますが、検査内容によって前後することがあります。当院では2018年度は21例、2019年度は27例に負荷試験を行なっています。

治療は？

成長ホルモンの分泌が悪い場合、成長ホルモン注射の自宅注射が可能です。成長ホルモン分泌不全性低身長症に対する成長ホルモン治療は保険適応であり、多くの自治体で子ども医療費助成制度が拡充しているため、ほとんどの方で自己負担は通常の受診と同様に抑えられています。毎日寝る前に注射しますが、最近では電動式の注射器も出ており、小学生、中学生では自分で注射をしているお子さんもたくさんいます。

成長ホルモン治療の対象となるのは、成長ホルモン分泌不全のあるお子さんだけではありません。

●子宮内発育不全（SGA 性低身長）：胎内での発育が悪く、小さく産まれたお子さんは、約90%は2歳までに成長が追いつくのですが、残り10%程度は小さいままで、そのままであれば大人になっても低身長に終わることがわかっています。3歳以降も低身長であれば、成長ホルモン治療の適応となります。生まれたときの身長、体重の情報と成長記録が必要です。

●軟骨異常症（軟骨無形成症・軟骨低形成症）：生まれつき軟骨の成長が悪いことにより、手足の長さが短く、低身長となります。成長ホルモンの投与と整形外科治療を組み合わせることにより、最終身長を伸ばすことができます。当院には大阪府はもちろん、他府県から通院されている方も多く、その成果は当院小児科原田医師が発表しています。（Harada et al. Eur J Pediatr 2017）

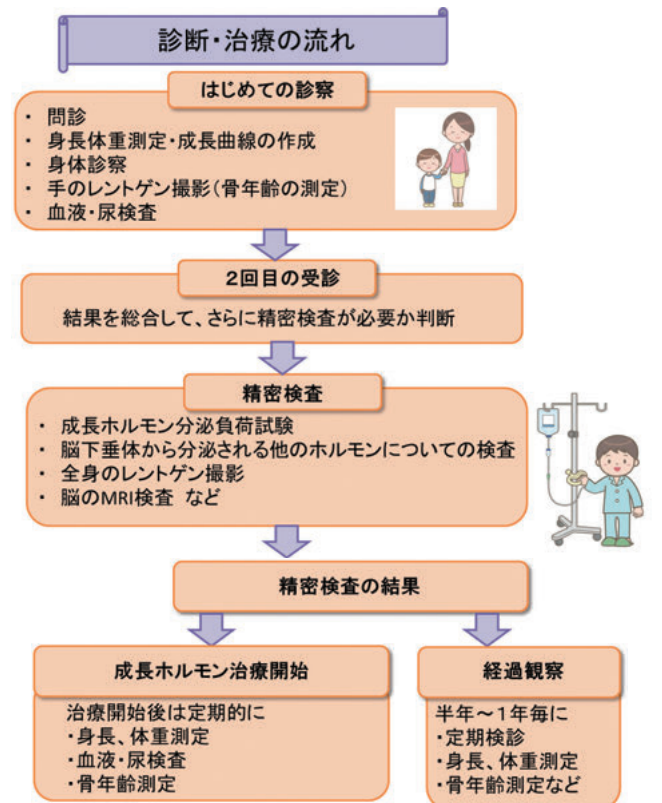
その他、ターナー症候群、プラダーウィリー症候群などの先天性疾患で成長ホルモン治療が適応となっています。当院では2019年度96名の方が成長ホルモン治療を受けています。また、成長ホルモン治療以外にも思春期早発症では以下のように早期発見し、適切に治療することにより、最終身長を伸ばすことができます。

●思春期早発症：文字通り思春期が通常より早く発来する病気で、女兒では特異性（原因不明）のものが多いと言われています。注意すべきは、身長が低めのお子さんが思春期早発症を発症した場合、今まで背が低かったのに、急に身長が伸びてきたということで、喜んでいたり、思春期が早く、このために骨の成長が早く止まってしまう、最終的な身長が小さくなってしまおうという問題があります。この場合、受診のタイミングが重要で、二次性徴が進行してから受診された場合、すでに骨端線が閉鎖していることも多く、適切な時期に思春期の進行を抑制する治療を開始する必要があります。

当院では低身長で治療中のお子さんはもちろん、治療適応ではないが身長が低めで経過しているお子さんは、思春期早発症候やその他の合併症がないか、成長率や骨年齢の推移などを定期的に外来で経過観察することをお勧めしています。

また、生活指導や当院栄養士による栄養指導も取り入れ、身長を伸ばすためのアドバイスも行っています。

このように、現在低身長のお子さんはもちろん、成長のことで気になることがあれば、まずは小児科一般外来を受診するか、専門外来（のびのび外来および小児内分泌外来）にご紹介ください。



当院の実力 小児科編

小児科について

小児科はこどものための診療科です。こどもの病気を診断したりおくすりや治療したり、予防接種や乳児健診を行います。“こども”と“おとな”はからだの大きさが違うだけではなく、かかる病気が異なります。さらに、小児科では生まれる前のあかちゃん（胎児）、生まれたばかりのあかちゃん（新生児）から幼児・学童・思春期、場合によっては成人式を迎えたおにいさんおねえさんまで幅広く診察しますが、こちらもそれぞれかかる病気が異なります。私たち小児科医が診ているこどもたちは実に多彩です。

当院の小児科について

専門（得意）分野を持っている小児科医が多数在籍していますが、それぞれの専門分野のみでなく幅広い診療を行っています。

- ・生まれたばかりの元気なあかちゃんの診察をしています。
- ・お母さんのお産がしんどい時や帝王切開の時に必ず立会います。
- ・NICU（新生児集中治療室）でしんどいあかちゃんの診断・治療と、その後の成長・発達の見守りをしています。
- ・予防接種をしています。
- ・ねつ・せき・はなみず、おなかいだ・げり・おうとなどこどもがよくかかる病気の診察・治療をします。
- ・かかりつけ医の先生が入院による治療が必要と判断されたこどもの入院治療をしています。
- ・背がのびにくい子など内分泌や骨の病気のこどもを診断・治療しています。
- ・心臓に病気があるこどもの診察をしています。
- ・便秘やおなかいだなど胃腸の病気のこどもを診察しています。
- ・喘息や食べ物にアレルギーがあるこどもを診察しています。
- ・おしっこの異常や腎臓に異常があるこどもを診察しています。
- ・けいれんなど神経の病気にかかったこどもを診察しています。
- ・こどもの救急は小児科医が診察します（けがなどを除く）。
- ・治療の成果や研究の成果を学会や論文で発表しています。

診療内容（診療対象疾患）

詳細については当院ホームページ <https://osaka.jcho.go.jp/shonika/> もご覧ください。

対象疾患、種類

対象疾患名

小児科一般	発熱、嘔吐、下痢、咳嗽、鼻汁など
内分泌疾患	低身長症、骨系統疾患（軟骨無形成症、骨形成不全症、低ホスファターゼ症）、くる病、思春期早発症、先天性甲状腺機能低下症、バセドウ病、副甲状腺機能低下症、副腎皮質機能低下症、ターナー症候群、小児肥満症など
小児神経疾患	熱性けいれん、脳性まひ、てんかんなど
小児循環器疾患	川崎病、先天性心疾患、不整脈など
小児消化器疾患	慢性便秘症、潰瘍性大腸炎、クローン病、胃炎、消化器内視鏡検査など
小児腎疾患	ネフローゼ症候群、急性・慢性腎炎、尿路感染症
小児アレルギー疾患	気管支喘息、アトピー性皮膚炎、食物アレルギーなど
ワクチン	各種ワクチン接種
新生児医療	新生児集中治療を要する新生児・未熟児
小児救急	小児科医が対応

特色

- ・発熱・嘔吐・腹痛など急性期疾患はもちろんのこと前述の慢性疾患にも幅広く対応しています。
- ・小児科外来待合は南に面しており明るいです。また、プレイマットを敷いており待ち時間にお使いいただけます。
- ・小児病棟にはプレイルームがあります。乳幼児は所属保育士による援助を受けることができます。
- ・院内学級：小学生・中学生の長期入院では支援学級への編入により院内で授業を受けることができます。
- ・男性医師・女性医師の選択：外来診療では女性が男性の担当医を選ぶことができます。
- ・子育てプログラムの実施：初めての子育てで不安でいっぱいなお母さんのために、親子の絆づくりプログラム「赤ちゃんがきた！」を開催しています。また、最近「きょうだいが生まれた！」も開始しました。詳しくは当院HPをご覧ください。
- ・NICU 同窓会：NICU から退院した早産児（予定より早く生まれた子）や低出生体重児（生まれた時の体重が2500g以下の子）の同窓会を年に1度行い、退院後の情報交換をしています（出生の次年度のみ）。



こどもの患者さんへ

私たち小児科医はこどもの味方です。もし病気になってしまったら、病気や検査の説明をきちんと行って全力で治療しますので心配しないでください。一緒に病気を治しましょう。

親御さんへ

私たちはわかりやすい説明、丁寧な診察・治療を心がけています。お子さんの病気のこと、子育てのこと、成長・発達のことなど気になることがございましたらなんでもご遠慮なくご相談ください。

小児科専門医を目指す臨床研修医の皆さんへ

当院小児科は大阪大学小児科研修プログラムの連携施設です。
一般小児科診療から各種専門分野まで幅広く学ぶことができますので、一緒に働いてみませんか？

山田 寛之 小児科診療部長

専門 小児消化器病
出身大学 大阪医科大学
資格等 医学博士(大阪大学)
日本小児科学会専門医・指導医
インфекションコントロールドクター
(日本小児感染症学会)

長松 有衣子 医長

専門 新生児
出身大学 愛媛大学
資格等 日本小児科学会専門医
新生児蘇生法インストラクター

近藤 可愛 医長

専門 小児科一般
出身大学 福島県立医科大学
資格等 日本小児科学会専門医

上山 薫 医師

専門 小児内分秘疾患
出身大学 鳥取大学
資格等 日本小児科学会専門医

石浦 嘉人 小児科部長(小児救急担当)

専門 小児科一般
出身大学 高知医科大学(現高知大学医学部)
資格等 医学博士
日本小児科学会専門医・指導医

泉井 雅史 医長

専門 小児循環器/川崎病
出身大学 川崎医科大学
資格等 新生児蘇生法インストラクター
臨床研修指導医
日本小児科学会小児科専門医・指導医

岸本 加奈子 医師

専門 小児神経
出身大学 久留米大学
資格等 日本小児科学会専門医

折山 恭子 医師

専門 小児内分秘疾患
出身大学 兵庫医科大学
資格等 PALS プロバイダー

柏木 博子 小児科部長(遺伝・内分秘担当)

専門 小児内分秘疾患・遺伝学
出身大学 大阪大学
資格等 日本小児科学会専門医・指導医
日本人類遺伝学会臨床遺伝専門医
日本小児科医学会子どもの心相談医

原田 大輔 医長

専門 小児内分秘疾患・骨代謝疾患
出身大学 岡山大学
資格等 日本小児科学会専門医
日本内分秘学会専門医(小児科)
医学博士(岡山大学)

阪本 夏子 医師

専門 小児科一般
出身大学 兵庫医科大学
資格等 日本小児科学会専門医

埴岡 由樹 医師

出身大学 大阪医科大学

周術期口腔機能管理って何ですか？

歯科口腔外科診療部長 藤本 佳之

最近、病院で手術される方に、術前に近隣の歯科医院（かかりつけ歯科または地元の歯科医院）を受診するよう促されることがあります。これは周術期口腔機能管理といって医科の手術の前後で口腔内の清掃をきっちり行うと、手術後の合併症を減らすことができるので、医科と歯科が連携して医療の質を向上させようとしているものです。

当院では今年より、医科で手術される患者さんで周術期口腔機能管理が必要と思われる方には積極的に歯科医院での口の管理をお願いするようになっています。「今は歯の症状はないから」と言わずに、勧められることに従い、いつも行かれている歯科医院で口の中を診てもらってください。

なお、当科では、心臓手術をされる方と人工関節を入れる手術をされる方については当科でも周術期口腔機能管理を行っています。医科の手術までに抜歯した方が良い場合は当科で抜歯しています。通常の虫歯治療が必要な場合は、かかりつけ歯科または近隣歯科医院に治療をお願いしています。



当院の骨粗しょう症診療について

整形外科部長（リウマチ外科担当） 中谷 宏幸

超高齢化社会に突入した本邦において、骨粗しょう症による骨折、特に大腿骨近位部骨折（足の付け根）や椎体骨折（腰背部）患者さんの増加が予想されます。また、高齢者に限らず生活習慣や治療薬等で青年期から骨密度が低下している方も散見されます。高齢者における骨粗しょう症を背景とする骨折は、急に日常生活が困難になってしまうだけでなく、生命予後にかかわる重大な疾患ですが、自分でリスクを認識することは非常に困難です。

リスク判定には脊椎レントゲン検査で既存骨折（いつのまにか骨折）の有無を判定し、腰椎・大腿骨近位の骨密度を測定することが最も信頼できる検査となっております。

骨粗鬆症学会認定医が在籍する当院ではそれらの検査、及び全ての骨粗しょう症治療薬が使用可能で、歯科の問題にも対応し、かかりつけ医療機関との治療連携が可能です。

骨折はある程度予防が可能な疾患です。患者さんの元気で長生きのために是非一度検査をお勧めします。



地域医療連絡会のご報告

2020年1月25日(土)、リーガロイヤルホテルにおきまして、地域医療連絡会を開催いたしました。

学術講演会では、塚本文音乳腺・内分泌外科診療部長より「乳がん診療最近の動向ならびに当院でのがん診療への取り組み」、眞下永眼科ぶどう膜炎担当部長より「ぶどう膜炎に対する最新治療」についての講演が行われました。その後の懇親会では、日頃お世話になっております地域の先生方に多数参加していただき、盛況のうちに終えることができました。ご参加いただきました先生方、ご

多忙の中、ご足労いただき、誠にありがとうございました。また、看護師、地域連携室、相談員の方々にもご参加いただき、改めて“顔の見える連携”の大切さを感じる機会となりました。

地域連携室では、2019年9月より看護師を配置するとともに、業務改善に取り組んでおります。よりよい医療を提供できるように努めてまいりますので、今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(地域医療連携室長 三村 麻紀子)



皮膚排泄ケア認定看護師による訪問看護師との同行訪問のご案内

当院では、在宅で生活されている褥瘡保有患者さんに対し、専門的な看護計画の実施により、褥瘡の重症化予防



および早期治癒を目指す目的で、担当の訪問看護師さんと一緒にご自宅に伺う同行訪問を行っています。ご自宅での

いつもの姿勢で体圧を測定し、食事や排泄、リハビリなど生活全般の中から褥瘡がなかなか治らない原因を一緒に考え、対策を提案させていただきます。ストーマ保有患者さんに対しても、管理困難なケアへの介入により患者さんのQOL維持・向上を目指します。通院が難しい患者さんで当院の受診歴がある方が対象となります。褥瘡ケアやストーマケアでお困りの方がおられましたら是非一度ご相談ください。

(看護師長 清水 加世子)

がん情報コーナーのご案内（3階 医療情報コーナー内）

患者さんやご家族、周りの方が、がんになるということは人生を揺るがす大きな出来事です。

がんの疑いがあり検査を進めるとき、診断がついたとき、治療を決めるとき、療養生活を考えるときなど、「情報を集めること」はとても大切です。

がん医療に関する情報はたくさんありますが、「必要な」情報を「正しく得る」ことをお手伝いしたいと考え、3階医療情報コーナーの一角に「がん情報コーナー」を設けました。

がんの症状への対応、ご家族や医療者とのコミュニケーション、大阪府のがんサポート情報、経済的支援、外見のケアなど、約50種類の冊子類を用意しています。

がんの冊子類は、ご自由に閲覧・お持ち帰りできますので、ぜひご活用ください。



がん相談支援センター（1階）

当院は大阪府がん診療拠点病院です。がん相談支援センターは、がんに関する相談の窓口で、患者さん、ご家族、地域の方はどなたでも無料で相談できます。がんに関連した迷いや不安をお伺いし、問題解決に向けて一緒に考えます。相談員研修を修了した医療ソーシャルワーカーおよび看護師が対応いたします。

●がん相談

- ・受付時間 月～金曜日（祝日除く） 10：00～16：00
- ・相談時間 おひとり30分程度
- ・電話 06-6441-5451（代）→がん相談とお伝えください
- ・受付窓口 くらしと医療の相談窓口（院内1階）
- ・予約 不要

●がん相談の対象となる方

どなたでもご利用いただけます。当院に通院していない患者さんやそのご家族もご相談ください。

また、他の医療機関の方からの相談にも対応いたします。



くらしと医療の相談窓口



くらしと医療の相談窓口では、くらしや医療・看護に関する様々な相談に幅広く対応しています。相談内容により、専門看護師や認定看護師をはじめとする各領域のスペシャリストや専門の部署・職種に連絡をとり、対応の調整をおこないます。

相談時間は、平日8時30分～17時15分となっております。ご遠慮なく相談にお越しください。

【お薬コーナー】について

■取扱内容

- ◆「当院特定の処方薬や血糖測定材料など」をお渡ししています。
※お渡しするお薬について、説明も行っています。
- ◆窓口では、当院のお薬についてのご質問やご相談にお答えしています。
※ご相談の内容によっては、「お薬相談室」(個室)もご用意しております。

■受付時間 平日：月～金 10：00～17：15

※上記の時間外は、窓口横のインターフォンを押してご連絡ください。

【お薬についてのご相談】について

■「当院で処方されたお薬」についてのご相談

- ◆電話でのご質問・ご相談は、
平日…8：30～17：15 土日休日…8：30～12：15
TEL…06-6441-5451 (代) 薬剤部 で承ります。
- ◆来院中の方は、「お薬コーナー」の窓口にお申し出ください。
- ◆入院中の方は、「病棟専任の薬剤師」もいますので、声をおかけください。

■「保険薬局で調剤されたお薬」についてのご相談

「そのお薬を受け取られた薬局」に直接お問い合わせください。



- 診療科によって予約をお取りできない曜日があります（皮膚科、脳神経外科、神経精神科、形成外科、泌尿器科、心臓血管外科、耳鼻いんこう科、脳神経内科）。ご受診の際は一度お問い合わせください。
- 保険証をお持ちいただかなかった場合は、自費診療になります。後日（なるべく受診された月内に）、保険証と自費診療で支払った領収書をお持ちになって、保険確認窓口へお渡してください。保険診療で計算しなおします。
- 当院では、紹介状をお持ちの患者さんの診察待ち時間をできるだけ少なくし、スムーズに受診していただくため、初診患者さんの診察予約を行っております。**予約の際にはかかりつけ医からの紹介状と紹介元医療機関からの予約が必要です。**診察担当医の出張による休診日もありますので、できるだけ予約をしてご来院いただきますようお願いいたします。
- 予約をされていない方は、紹介状をお持ちでも診療開始がかなり遅れることがありますので、ご了承くださいませようお願いいたします。
- 当院での整形外科初診・再診の取り扱いについて**
整形外科（リウマチ科・脊椎外科・スポーツ医学科を含む）の初診は、他の医療機関からの紹介患者さん限定とさせていただきます。過去に通院しておられた患者さんも治療が終了して次回の予約がない患者さんは初診となりますので、他の医療機関からの紹介・予約が必要となります。
 受診ご希望の際は、まずかかりつけ医の先生にご相談いただき、先生を通じてご予約いただきますようお願いいたします。
 なお、**再診も初診と同様にすべて予約制です。**診察室が予約の患者さんで常時ふさがっているため、紹介状をお持ちでも、診察や診察医師の手配ができませんのでご了承ください。

【問合せ先】 地域連携室 TEL：06-6441-5451（代）
AM 9：00～PM 5：00（土日祝日を除く）

I. 病院の理念・基本方針・

看護部の理念・看護部の方針

JCHOの理念

我ら全国ネットのJCHOは
地域の住民、行政、関係機関と連携し
地域医療の改革を進め安心して暮らせる地域づくりに貢献します

JCHO大阪病院の理念

1. 高度で安全な医療を目指します。
2. 患者さんの立場に立て、心温まるケアに専念します。
3. 近隣のかかりつけ医と連携し、地域の医療と福祉を推進します。
4. 職員全員が働きやすい職場づくりをすすめます。

地域医療支援病院としての基本方針

1. 小児救急を含む24時間救急医療をおこなっています。
2. 母子医療センターとして妊娠・分娩と新生児・未熟児の医療に24時間体制で迅速かつ確実に対応します。
3. 各部位の癌に対して、内科的・外科的に積極的な集学的治療をおこなっています。
4. 内視鏡、内視鏡下手術などを用いた低侵襲かつ高度な治療とともに外来化学療法や緩和医療チームにも力を入れています。
5. 慢性疾患に対してもリハビリを含む集学的な治療体制を整え、患者教育にも熱心です。
6. 脊椎・四肢・視覚・皮膚などの疾患に対して、専門性の高い手術的治療を麻酔科、ICU、放射線科等とチームを組んでおこなっています。
7. 心筋梗塞・脳卒中などに対して、各診療科が協力して治療にあたります。
8. 生活習慣病の予防や癌の早期発見についても各診療科が協力して診療にあたります。
9. 各診療科での診療は地域や関連する診療所や病院との連携を大切におこなっています。

10. 地域の医療従事者と合同で医療の質の向上を目的とした研修会等をおこなっています。
11. 職員の子育て支援にも積極的に取り組んでいます。

看護部の理念

地域住民の健康で幸福な生活を支える看護

看護部の方針

1. 患者の生命の尊厳と権利を尊重し、生活の質を高める看護を実践します。
2. 看護の質的向上を図り、地域住民のニーズに応じた看護の提供をします。
3. 多職種と協働し、チーム医療の向上に努めます。
4. 看護職者として感性を磨き、創造性の高い看護の実践に努めます。
5. 自己啓発や看護研究活動を推進します。
6. 人を癒し人を活かせ職場づくりに努めます。

II. 患者さんの権利と責務

患者さんの権利と責務

1. 患者さんは、誰でも当院でおこなう最善の医療を平等に受ける権利があります。
2. 病名と治療方法など十分な説明を聞いた上で、患者さんは、自分の意思で治療を受け入れるかどうかを決めることができます。
3. 治療の途中でも、患者さんは、他の医師に意見（セカンドオピニオン）を求めることができます。
4. 患者さんの個人情報保護されます。又、病名や検査結果など必要とする情報は患者さんによる適切な手続き後にはいつでも求めることができます。
5. 全ての患者さんが適切な医療を受けていただく為に、当院の規定・規則を守り他の患者さんや病院職員の診療業務の支障となる迷惑行為を慎み、医療者と協力して療養する責務があります。

みなさまの声

オープン・ウィンド

Open Windより

2019年6月から2019年11月までの投書箱「みなさまの声」に寄せられたご意見は85件、患者相談窓口で直接対応したご意見等は179件、合計264件でした。その中の苦情及びご意見の一部を紹介します。

Q 食堂、ディルームにテレビを設置して欲しい。

A 病棟食堂は、患者さん、ご家族の皆さん、面会の方々が、気兼ねなく会話できるよう、また、くつろいでいただけるようなスペースとしてのご利用を優先しております。テレビの視聴が、そのご利用に支障を生じる可能性もあることから、テレビにつきましては設置しておりません。ご理解のほどよろしくお願いたします。

Q 食事の件(朝食) 私共、高齢者の為、少食です。毎朝、パン(2枚or2ヶ)をご提供していただいておりますが、常に1枚or1ヶのみしか食しません。事前に枚数等をご確認頂ければ食品ロス問題に少しでも貢献できるのではと考えます。※マーガリン・ジャム等も同様

A 主食量の調整を行う事も出来ますのでお申し出ください。(治療食等、食種によっては、担当医の許可が必要な場合もあります。)

Q 1階受付、良くなかった。検査時間より早く来院して1階受付女子職員さんの対応。検査表のことで色々質問していることに対して「あの～、あの、あの～」ばかり7、8回言って肝心な質問の答えが、なかなか返ってこないの、感じもすごく悪い、きちんと迅速に親切に対応した方が良いと思う。指摘しました、おかげで検査時間が遅れました!!

A この度は、不愉快な思いをさせてしまい申し訳ありませんでした。迅速かつ丁寧な対応を心掛けるよう注意していきます。貴重なご意見ありがとうございました。

◆ 禁煙外来のご案内 (予約制)

場 所 内科外来

日 時 毎週水曜日 14時～

内 容 禁煙補助薬処方、呼気一酸化炭素濃度測定など個別指導で、カウンセリング中心です！
事前予約の上お越しください。

*保険適応は一定の条件を満たされる方

↓
保険改定により35歳未満の方でも受けやすくなりました。

問合せ JCHO (ジェイコー) 大阪病院
内科外来 TEL: 06-6441-5451 (代)



*新型コロナウイルス流行に伴い、当面の間休止させていただきます。再開の見通しがつきましたら、院内の掲示、ホームページでご案内させていただきます。

そんなあなたに
ぜひ来てもらいたい～

これを さいごの1本に
しよって思ってるんだ...



当院の活動内容を掲載している記事

当院が下記メディアに掲載されました

新聞記事

新聞名	掲載年月日	掲載タイトル	内容
読売新聞	2019.9.22(日)	病院の実力 「眼科」 (2018年治療実績)	硝子体手術(104件)、白内障の水晶体再建術(710件)、緑内障手術(54件)、常勤専門医数(4人、2019年4月現在)

書籍記事

書名	発行日	掲載 P	タイトル・内容
「いい病院2020」 (週刊朝日 MOOK)	2020.2.25	P.348-351,354,366	<ul style="list-style-type: none"> ・【骨・関節の病気：人工関節置換術 股関節】に中田 活也 人工関節診療部長・人工関節センター長が、最新動向、セカンドオピニオンとるべきケース、ランキングの読み方と病院選びについて回答。 ・その他、いい病院ランキングに当院が掲載される (P.351 人工関節置換術 股関節データ(全国) P.354 (股関節) (近畿)、P.366 人工関節置換術 膝関節データ(近畿))
「女性セブン」 2019.12.5・12号	2019.12	P.161-5	<ul style="list-style-type: none"> ・膝と股関節 名医がすすめる本当の名医全国32人 実名 & 病院リスト」 (股関節部門) に中田 活也 人工関節診療部長・人工関節センター長が掲載される

院内施設のご案内



新型コロナウイルス感染症流行に伴い、休業、開店時間変更、閉鎖中の施設があります。
最新の情報は、当院内掲示、当院 Web サイト <https://osaka.jcho.go.jp/> よりご確認ください。

駐車場



- ▶ 事前精算機は西側出入口(守衛室前)にあります。
- ▶ ご入場は、あみだ池筋よりお願いいたします。

【駐車場問合せ先】

タイムズコンタクトセンター TEL:0120-72-8924

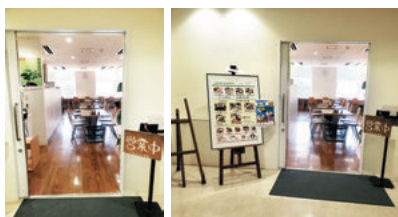
(利用料金)

- 一般料金 60分 600円
- 外来受診の方 60分 200円
- ・ 最大料金 平日 1,800円 土日祝 800円
- ・ 割引対象の方で、身体障害者手帳をお持ちの方 (無料)
- ・ 入院・退院当日、日帰り手術、人間ドック受診の方(無料)

患者さん用コインロッカー

- 設置場所 1F タリーズコーヒー入口横
- 使用料金 1日1回 小型100円 中型200円
- 係員対応時間 平日 9:00 ~ 17:00
土日祝祭日 翌通常診察日
(時間外の対応はできませんのでご注意ください)
- 追加料金 午前0時をもって日数の切換えとなり、引き続きご使用の場合は、上記料金の追加となります。
- 使用期間 4日(連続)以上の使用はできません。
3日以内にお引取りください。(ご使用当日も含まれます)
- 使用期間の経過 4日以上経過した収容品は、規定により当方所定の場所に保管します。
- 保管荷物 前項により別途保管中の収容品保管期間は30日以内で、保管料金は、ロッカー使用料と同じです。
(30日を過ぎた物品は処分いたします)
- 鍵の紛失 直ちに下記連絡先にお申し出ください。
なお、鍵交換費用として2000円いただきます。
- その他 コインロッカーの使用約款はロッカー扉裏にありますのでご覧ください。
- 連絡先 ロッカーについてのご用の方は守衛室までお願いします。

施設名



レストラン「ポールライト」

場所 4階(南)

営業時間 ※定休日:土・日・祝

月~金 8:30~15:00
【モーニングタイム】 8:30~11:00
【ランチタイム】 11:00~14:30

施設名



タリーズコーヒー TULLY'S COFFEE

場所 1階(東)

営業時間

平日:7:30~19:00
土・日・祝:8:00~18:00
年中無休

施設名



ファミリーマート

場所 1階(東)

営業時間

24時間営業・年中無休

ラウンジ・医療情報コーナー

当院を利用される患者さんのためのオープンスペースです。お気軽にご利用ください。

施設名



ラウンジ(外来)

場所

2階(南)

開放時間

平日:8:30~18:00

閉鎖:土・日・祝日・年末年始

3階(南)

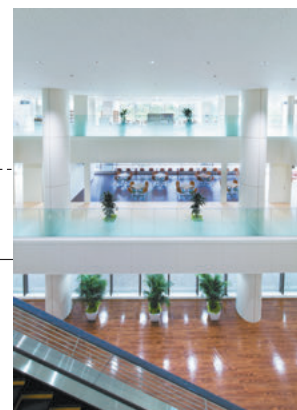
平日:8:30~18:00

閉鎖:土・日・祝日・年末年始



医療情報コーナー

一般娯楽本、雑誌、闘病記、医療パンフレット、医療書があります。
(利用ルール等詳細は、コーナー内の案内をご覧ください)



かかりつけ医さん

こんにちは

福島区

康心会消化器内視鏡クリニック 大阪福島院

院長 印藤 直彦

〒553-0003 大阪市福島区福島5-18-25
阪神 NK 共同ビル3階

TEL 06-6454-9000

FAX 06-6454-9030

ホームページ <https://osaka-icamera.com/>

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	—
16:00~19:00	○	○	○	—	○	—	—



「印藤先生(中央)とスタッフのみなさん」



診療科目

内科 / 消化器内科 / 内視鏡内科 / 胃腸内科

往診

無

休診日

木曜午後・土曜午後・日曜・祝日

駐車場

近くのコインパーキングをご利用ください

当院は2019年6月1日にあみだ池筋阪急オアシス3階に開院致しました。「麻酔を使った胃・大腸カメラ」「日帰り大腸ポリープ手術」を行っている内視鏡クリニックです。

クリニックの特性を活かし「当日希望や16時以降の胃カメラ」「土曜日の内視鏡検査」にも迅速に対応し、皆さんの健康管理・健康増進に努めています。

JCHO 大阪病院の先生方と共に、胃癌・大腸癌撲滅のため、全力で取り組んでまいります。どうぞ宜しくお願い致します。

アクセス

- JR 大阪環状線「福島」駅下車、出口南側より線路沿い西へ徒歩約2分
- JR 東西線「新福島」駅下車、①番出口より徒歩3分
- 阪神本線「福島」駅下車、②番出口より徒歩3分

福島区

もりかわ内科クリニック

院長 森川 浩安

〒553-0004 大阪市福島区玉川4-14-11

TEL 06-6443-1522

FAX 06-6443-1523

ホームページ <https://morikawa-medical.jp/>

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	○	○	○	★	○	★	—
16:00~19:00	○	○	○	—	○	—	—

★木曜・土曜は13:00まで診療



診療科目

内科 / 消化器内科 / 肝臓内科

往診

無

休診日

木曜午後・土曜午後・日曜・祝日

駐車場

有



「森川先生」



2019年10月に開院しました。主におなかの病気(胃や腸、肝臓、胆のう、膵臓)、生活習慣病(血圧、コレステロール、脂肪肝)の診療を行っています。

設立主旨に「健康寿命延伸への寄与」を掲げており、予防医療も積極的に取り組んでいます。これらを実践するため、ハイエンド超音波の導入、しんどくない胃カメラの実施等を行っています。地域の皆様に頼りにされるクリニックを目指していますので、どうぞよろしくお願い致します。

アクセス

- 大阪メトロ千日前線「玉川」駅下車、徒歩2分
- JR 大阪環状線「野田」駅下車、徒歩5分
- 阪神本線「野田」駅・大阪メトロ千日前線「野田阪神」駅下車、徒歩7分

病診連携で日頃お世話になっている
かかりつけ医さんをご紹介します。

福島区

おくだ歯科クリニック

院長 奥田 耕三

〒553-0002 大阪市福島区鷺洲5-1-13

TEL 06-6341-3278

FAX 06-6341-3279

ホームページ <http://okuda-dc.jp/>

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:30~13:00	○	○	○	—	○	○	—
14:30~19:00	○	○	○	—	○	★	—

★土曜午後は 14:30 ~ 17:00



診療科目

歯科 / 小児歯科 / 歯科
口腔外科

往診

有

休診日

木曜・日曜・祝日

駐車場

近くのコインパーキング
をご利用ください

アクセス

- JR 大阪環状線「福島」駅下車、徒歩10分
- 阪神本線「野田」駅・大阪メトロ千日前線「野田阪神」駅下車、徒歩8分



「奥田先生(前列右)とスタッフのみなさん」



当院は2005年11月から、クリニックのある鷺洲を中心に、福島区に関わるいろいろな方々に確かな歯科情報を発信し続けています。そして乳児から高齢者まで、さまざまな年齢層の方々の歯周病とう蝕の予防を治療の柱としています。歯周病の治療は短期間では完治しません。そのため私たちは一時的な治療だけでなく、来院される方々の生涯にわたってのお口の健康を維持できるように、スタッフ一丸となって取り組んでおります。

此花区

HABAクリニック

院長 八幡 暁直 (はば あきなお)

〒554-0024 大阪市此花区島屋6-2-90
リバーガーデンさくらの丘D棟403

TEL 06-6460-8896

FAX 06-6460-8898

ホームページ <https://haba-clinic.com/>
予約システム有・ブログ有

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
10:00~13:00	○	○	○	○	○	○	—
17:00~20:00	○	○	○	—	○	—	—



診療科目

内科 / 皮膚・アレルギー
科

往診

有

休診日

木曜午後・土曜午後・
日曜・祝日

駐車場

近辺のコインパーキング
をご利用ください
駐輪場あり

アクセス

- JR ゆめ咲線「ユニバーサルシティ駅」下車、徒歩1分



「八幡先生」



2009年5月に開院。お子様からご年配まで「ハバ広い」年齢層に対応しております。予防接種、介護関係・往診の依頼に応じております。また、禁煙指導や睡眠時無呼吸対策など科目の枠を超えた「ハバ広い」診療に努めております。「未病」と呼ばれる症状には漢方(保険適応)も取り入れておりますので、どんな些細な症状もお気軽にご相談ください。「かかりつけ医」として、会話ある丁寧な診察を心がけております。



新型コロナウイルス感染症流行に伴い、今後の開催が中止、変更になることがあります。
最新の情報は、当院 Web サイト <https://osaka.jcho.go.jp/> よりご覧ください。

各種教室

マタニティクラス

問 申 JCHO(ジェイコー)大阪病院(8階東病棟)
☎ 06-6441-5451(代)

新型コロナウイルス感染症の罹患者数増加に伴い、当面の間マタニティクラスを中止させていただきます。再開の見通しがつきましたら、院内の掲示やホームページでご案内させていただきますので、今しばらくお待ちください。

腎臓病教室

問 JCHO(ジェイコー)大阪病院(血液浄化センター)
☎ 06-6441-5451(代)

腎臓病教室 中止のお知らせ

新型コロナウイルス流行に伴い、残念ながら当面中止させていただきます。
再開の見通しがつきましたら、院内の掲示やホームページでご案内させていただきますので、今しばらくお待ちください。

レッツ！糖尿病教室

問 JCHO(ジェイコー)大阪病院(内科外来)
☎ 06-6441-5451(代)

糖尿病教室 中止のお知らせ

新型コロナウイルス流行に伴い、残念ながら当面中止させていただきます。
参加予定だった方々にはご迷惑をお掛け致しますが、ご理解いただけますようお願い申し上げます。

禁煙教室

問 JCHO(ジェイコー)大阪病院(内科外来)
☎ 06-6441-5451(代)

新型コロナウイルス流行に伴い、残念ながら当面の間禁煙教室を中止させていただきます。再開の見通しがつきましたら、院内の掲示やホームページでご案内させていただきますので、今しばらくお待ちください。



新型コロナウイルス感染症流行に伴い、今後の開催が中止、変更になることがあります。
最新の情報は、当院 Web サイト <https://osaka.jcho.go.jp/> よりご覧ください。

公開講座

どなたでも
参加できます

消化器病懇話会

問 JCHO(ジェイコー)大阪病院(内科外来)
☎ 06-6441-5451(代)

消化器病懇話会中止のお知らせ

新型コロナウイルス流行に伴い、残念ながら当面中止させていただきます。

参加予定だった方々にはご迷惑をお掛け致しますが、ご理解いただけますようお願い申し上げます。

院内の公開講座

対象：医療従事者

院内の公開症例検討会

問 JCHO(ジェイコー)大阪病院(地域連携室)
☎ 06-6441-5451(代)

名称	日時		場所
腫瘍カンファレンス	第3水曜日	17:00～	当院6階 講堂1
乳腺疾患カンファレンス	第1・3水曜日	17:30～19:00	当院6階 会議室2
手の外科診療班症例検討会	第1金曜日	19:00～21:00	当院6階 講堂1
脳卒中カンファレンス	毎週火曜日	17:00～18:30	当院9階東 カンファレンス室
臨床病理検討会(CPC)	毎月最終水曜日	17:30～18:30	当院6階 講堂1

院内でおこなわれる症例検討会であり、緊急手術や学会により中止になることがあります。
開催直前までの1週間以内に地域連携室にご確認ください。

ケア連携の会

問 JCHO(ジェイコー)大阪病院(医療福祉相談室：三村)
☎ 06-6441-5451(代)

ケア連携のためのネットワークづくり、地域の皆様と共に学ぶ場として事例検討を中心に開催、ケア連携の質向上を目指しています。

- 対象／病院看護師、訪問看護師、ケアマネージャー、その他医療・介護従事者
- 予約制 ※詳細は各回ごとにご案内いたします。

公開講座

問 申 JCHO(ジェイコー)大阪病院(看護部教育担当：谷口)
☎ 06-6441-5451(代)

JCHO 大阪病院看護部では、看護実践の向上に向け様々な研修を企画・実施しておりますが、現在は新型コロナウイルス流行に伴い、残念ながら中止させていただいています。

ご希望だった方には、大変ご迷惑をおかけしますが、また、公開可能となれば情報発信させていただきますので、ご理解の程よろしく願いいたします。

問 は問い合わせ 申 は申し込みを表しています



新型コロナウイルス感染症流行に伴い、内容が変更になることがあります。
最新の情報は、当院 Web サイト <https://osaka.jcho.go.jp/> よりご覧ください。

JCHO 大阪病院のご案内

Japan Community Health care Organization

2014年4月設立 許可病床数565床 日本医療機能評価機構認定病院

外来診療
受付時間

8:30～11:30

(土・日・祝日・年末年始を除く)

初診の方は、「紹介状」をお持ちの上、かかりつけ医の先生から初診予約をしてもらってください。
整形外科は紹介状と、予約なしでは受診できません。

一般病棟
面会時間

12:00～21:00 平日(月～金)

10:00～21:00 土・日・祝日

診療科等一覧

- 救急部
- プライマリケア診療部
- 内科
- 消化器内科
- 神経精神科
- 脳神経内科
- 循環器内科
- 小児科
- 外科
- 乳腺・内分泌外科
- 整形外科
- リウマチ科
- スポーツ医学科
- 形成外科
- 脳神経外科
- 心臓血管外科
- 皮膚科
- 泌尿器科
- 産婦人科
- 眼科
- 耳鼻いんこう科
- 放射線治療科
- 麻酔科
- リハビリテーション科
- 歯科・歯科口腔外科
- 病理診断科
- 集中治療部
- 内視鏡センター
- 女性医師外来
- 女性がん検診
- 禁煙外来

※各科の専門など詳細は <http://osaka.jcho.go.jp/> でご覧になります。
※診療内容、専門外来に関するお問い合わせは直接各科外来にお願いします。

リウマチ科

問 整形外科外来
TEL(06)6441-5451(代)

最新の薬物療法から脊椎・関節手術まで患者さんの状態に応じて幅広く対応しています。
(診療日) 要紹介・予約制: 初診(月・水曜日)、再診(月・火・水・木・金曜日)

集中治療部 (ICU)

全室個室で、手術後(心臓外科や食道摘出などの侵襲の大きな手術や、長時間の手術、合併症のある患者さんの手術)、院内で重症になり、集中治療の必要な患者さん、救急で来院された心筋梗塞、脳卒中、ショック状態などの救急患者さんが入室します。主治医、集中治療医、スタッフ、臨床工学技士、理学療法士などが協力して重症患者さんを治療します。

救急部

問 TEL(06)6441-5451(代)

時間内、時間外を問わず、内科プライマリーケア、脳・心血管系救急、一般外傷救急、産科・小児科救急の患者さんを広く受け入れています。
各科医師との連携の上、緊急手術にも対応しています。

内視鏡センター

問 TEL(06)6441-5451(代)

消化管の癌やポリープなどの早期発見、早期治療(内視鏡的手術)を目的としています。

申 かかりつけ医の先生からFAX、またはお電話にてご予約後、当日紹介状を持参ください。胃カメラはかかりつけ医の先生のご予約後、直接検査が可能です。

予 FAX(06)6441-0512 かかりつけ医の先生専用

地域医療

病診連携を推進し、地域医療施設とのコミュニケーションを図りつつ、在宅ケア活動を実施しています。

地域連携室

TEL(06)6441-5451(代)

患者さんの治療・療養が円滑に施行・継続されるよう、「かかりつけ医」との連携を深めています。

医療福祉相談室

TEL(06)6441-5451(代)

患者さん、ご家族の抱えておられる問題点や不安を早期に解決し、在宅療養を支援するため、地域医療機関や訪問看護ステーション、ケアマネージャー等と連携を取り合っています。自宅退院が困難な場合は新たな療養先の紹介も行います。また、社会福祉制度のご案内も行っています。

人間ドック・脳ドック

問 健康管理センター
(人間ドック健診施設機能評価認定施設) TEL(06)6441-5451(代)

生活習慣病やがんなどの早期発見・早期治療、発症の予防ならびに健康的な生活をしていただくことを目的としています。二日ドックと一日ドックを中心に、オプションを含め各種ご用意しております。詳しい内容は、健康管理センターまでお問い合わせください。

申 健康管理センター予約係 TEL(06)6441-5451(代)

問 は問い合わせ 申 は申し込み 予 は予約先を表しています

NICU(新生児集中治療室) 問 TEL(06)6441-5451(代)

24時間体制で、新生児の集中治療を行い、地域周産期救急医療の一翼を担っています。

産科オープンシステム かかりつけ医の先生専用

地域の登録医(かかりつけ医)と当院が密接に連携して、当院にて出産を取り扱い、お産の安全性を高めるシステムです。

女性医師外来 問 医事課 TEL(06)6441-5451(代)

女性の方は女性医師による診察を受けることができます。

(診察日) 毎週水曜日(受付時間 8:30～11:30)

(診療科) 内科、産婦人科、小児科

(受付窓口) 医事課初診窓口(①番窓口)

なお、女性医師の出張・異動等により、女性医師外来を休診している場合がありますので、ご了承ください。

申 当外来をご希望の女性患者さんは、医事課受付でその旨をお申し付けください。

乳がん検診 問 乳腺・内分泌外科外来

TEL(06)6441-5451(内線2319)

乳がんの早期発見にお役にください。

(検診日) 毎月第4水曜日の午後1:00と3:00、

毎週木曜日の午後4:00

申 完全予約制。院内にある申込用紙で直接お申し込みされるか、お電話で予約センター TEL(06)6441-5451(内線2153)まで事前にお申し込みください。
(受付時間 平日午後2:00～5:00)

女性がん検診 問 産婦人科外来 TEL(06)6441-5451(内線2322)

女性医師、女性スタッフによる乳がん・子宮がんのセット検診です

(検診日) 毎週月曜日 午後3:30～

申 完全予約制。院内にある申込用紙で直接お申し込みされるか、お電話で予約センター TEL(06)6441-5451(内線2153)まで事前にお申し込みください。
(受付時間 平日午後2:00～5:00)



- JR東西線
「新福島駅」下車徒歩約5分
※出口1にはエレベーター、出口2にはエスカレーターがございます。
※当院が一番近い出口3には階段しかございません。
- 阪神電車「中之島駅」下車徒歩5分
- JR環状線
「福島駅」下車徒歩10分
「野田駅」下車徒歩15分
- 阪神電車「福島駅」下車徒歩10分
- 地下鉄
千日前線「玉川駅」下車徒歩10分
- 市バス
大阪駅前 鶴町四丁目[55]方面
「堂島大橋北詰」下車 すぐ
大阪駅前 西島車庫前[56]方面
「福島西通」下車 徒歩5分
大阪駅前 西島車庫前[56]方面
「大阪福島税務署」下車 徒歩5分
大阪駅前 船津橋[53]方面
「堂島大橋」下車 徒歩5分
- タクシー
「大阪駅」より約10分

大阪府「男女いきいき・元気宣言」登録事業者 / 「働きやすい病院」認定病院(第1号) / につけ子育て支援大賞受賞 / 女性のチャレンジ支援賞(内閣府)受賞



地域医療支援病院 日本医療機能評価機構認定病院/大阪府がん診療拠点病院

JCHO(ジェイコー)大阪病院 信頼に応える医療

独立行政法人地域医療機能推進機構(旧 大阪厚生年金病院)

〒553-0003 大阪市福島区福島4-2-78

TEL(06)6441-5451(代表) FAX(06)6445-8900

<https://osaka.jcho.go.jp/>

この広報誌に対するご意見・ご要望は、当院広報委員会宛まで